

# 2021年度の事業計画

## 【2021・2022年度 2年間の指針】

コロナ禍の新しい生活様式が確立されつつあり、そんな社会状況の中で、私たちが設立以来大切にしてきた活動の基盤「集う・あそぶ・観る・つながる」をどのように実践していったらいいか、多くの知恵を集めたい。リアルな居場所だけではなく、時にはリモートやオンラインなどによる子育て支援も取り入れていく必要がある。節目となる30周年を経て、新しい視点や情報発信の仕方が不可欠であるが、担い手にも若い力を増やし他団体にも学びながら、「五感をゆさぶるほんものの体験」の場をつくり続けられるよう次なる一步につなげたい。

## 【2021年度の方針】

- 1 設立30周年の今年は、「子どもーぶまつり」に加えて市との協働事業「ファミリー人形劇」を大きな柱として進めていく。地域の新型コロナウイルス感染状況を見極め、行政とも連携して慎重に事業に取り組む。
- 2 このような時勢だからこそ、文化・あそび・自然体験など「ほんものの体験」や「人と人とのつながり」の大切さを、様々な機会をとらえて発信していく。回数や受け入れ人数に限りがあるとしても、丁寧な実施を心がける。
- 3 袖ヶ浦市に若い世代の転入者が増えていることをふまえ、特に乳幼児親子に向けて会の魅力を伝えるためにも、会員の意見やアイデアなどを生かし仲間増やしにつながる工夫をしていく。
- 4 コロナ禍にあっても安心して参加できるアウトドアの活動を定期的に行い、会員同士が気軽に交流できる場としても大事にしていく。
- 5 IT環境の改善に力を入れ、情報発信の仕方を工夫する。また、オンラインを活用した会員同士の交流についても方法を研究していく。
- 6 NPOとしての会のあり方、会員制など、変化する時代に合わせた形の模索を続けていく。

## 【2021年度の事業計画】

### I 子育て支援事業

- ① 「子どもーぶまつり」 6/27(日) 袖ヶ浦市民会館
- ② ままんべいび ～赤ちゃんとお母さんのための体験と交流のひろば～  
「赤ちゃんとお母さんのためのコンサート」 2022年3/3(木) 長浦公民館
- ③ るーぷのおやこ文庫「わっくぶっく」 毎月2回 水曜日 事務所
- ④ 乳幼児とお母さんのあそびの場「ぴっぴ」 毎月1回 主に第2木曜日 登録制

### II 子どもと大人のための自然体験・遊び体験・芸術体験事業

- ① 何でも体験隊  
・畑や活動地を中心とした自然体験(タケノコ掘り・芋掘り・たたき染めなど)  
・会員の企画による遊び体験(はたおり体験・デイキャンプなど)
- ② あそびの劇場「ぐうちよっぱっ劇場」0～5歳児向け(2020年度の計画を延期)9/23(木・祝)  
(NPO法人あそび環境 Museum アフタフ・バーバン) 根形公民館
- ③ 芸術体験事業 市制30周年記念事業 ファミリー人形劇 12/12(日) 袖ヶ浦市民会館  
「はこ/BOXES～じいちゃんのオルゴール～」(デフ・パペットシアター・ひとみ)

### III 子育てと文化に関する調査、情報収集・発信事業

- ① 機関紙「どりーむBOX」の発行(隔月1回)
- ② 地域の学校および公民館等の芸術鑑賞会への情報提供(随時)
- ③ ホームページのリニューアル、HP・ブログ・フェイスブック・ツイッター・インスタの随時更新
- ④ 子ども、親子の居場所づくりに関する調査・研究

### IV 行政・諸団体とのネットワーク事業

- ① 郷土博物館ミュージアムフェスティバル実行委員
  - ② 「子どもーぶまつり」6/27(日)  
そのほか、代宿児童館主催「ほわりん」に共催としてスタッフを派遣
- ☆ 会員交流会(るーぷのおしゃべり会) 隔月1回開催 会員同士の自由な交流の場



「はこ/BOX」